

平成26年12月26日	
資料提供	
担当課(室)	産業技術政策課
担当者	三宅・中場
電話	073-441-2355

第3回 ネイチャー・インダストリー・アワード 受賞について

(一財)大阪科学技術センターにて第3回ネイチャー・インダストリー・アワードが開催され、和歌山県工業技術センター 山際秀誠 主査研究員、オーヤパイル(株) 大家健司 取締役社長、エコ和歌山(株) 中田祐史 代表取締役の連名による「食物連鎖を利用したパイル担体活性汚泥法(ESCAPE法)の開発」が技術開発委員会賞を受賞しました。この賞は、これまで大学の研究者が受賞してきており、地方自治体の公設試験研究機関による受賞は初めてです。

この技術は、県の地場産業である「パイル織物」を排水処理の固定化担体に応用したことを特徴としており、

- ・系内の微生物種を活性化
 - ・通常発生しにくいミミズの仲間(排水処理における食物連鎖の最上位者)を大量に保持
 - ・食物連鎖が活性化されることで、産業廃棄物となる汚泥を大幅に削減
- することを可能とした、画期的な方法です。

これまで、H20 および H21 年度の「新連携共同研究事業」を活用してパイロットプラントでの試験を行い、さらに「わかやま中小企業元気ファンド」助成事業を活用し、H23～H25 年度にかけてみなべ町にある梅加工業者の既存設備で実証化試験を行ってきました。(いずれも(公財)わかやま産業振興財団による事業)

この結果、本年度までに実際の排水処理設備で、80%以上の汚泥減容化が維持出来ることを実証しています。

なお、本内容は大阪科学技術館のHPにおいて掲示されるとともに、日刊工業新聞の特別紙面(全国版、1月頃掲載予定)で紹介されます。

【ネイチャー・インダストリー・アワード】

「自然に学ぶ」「自然を利用する」「自然と共生する」研究を対象とした若手研究者支援事業

主催：(一財)大阪科学技術センター、共催：日刊工業新聞社

毎年40件程度の応募があり、

- ・OSTEC賞(新規性/独創性に優れた研究シーズ)
- ・技術開発委員会賞(実用化の可能性が高い研究シーズ)
- ・日刊工業新聞社賞(応用分野が広く我が国のモノづくりに寄与する研究シーズ)

がそれぞれ1件選ばれる。

【問い合わせ先】

和歌山県工業技術センター

技術企画課 細田・前田

電話：073-477-1271 FAX：073-477-2880